

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 17 日 (2016.3.17)

【公表番号】特表 2015-511228 (P2015-511228A)

【公表日】平成 27 年 4 月 16 日 (2015.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2015-025

【出願番号】特願 2014-555250 (P2014-555250)

【国際特許分類】

C 07 D 413/14 (2006.01)

A 61 K 31/496 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 P 35/02 (2006.01)

【F I】

C 07 D 413/14 C S P

A 61 K 31/496

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 35/00

A 61 P 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 1 月 27 日 (2016.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

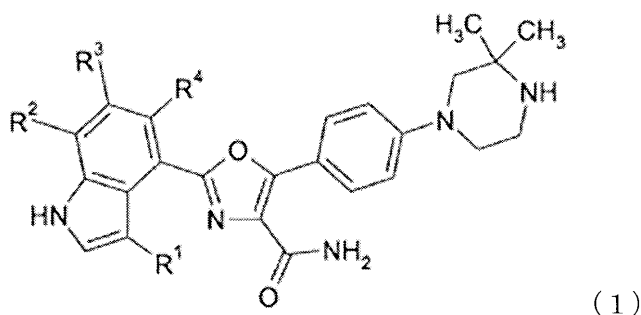
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (1) :

【化 1】



(式中、

R¹ は、水素または C₁ - 2 アルキルであり；

R²、R³ および R⁴ のうちの 2 つ以下が、水素以外であることを条件に、R²、R³ および R⁴ は、同一または異なり、それぞれ水素、C₁ - 2 アルキル、フッ素、塩素、C₁ - 2 アルコキシおよびトリフルオロメチルから選択される) を有する化合物、およびその塩。

【請求項 2】

R¹ が、水素およびメチルから選択される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R^2 が、水素、フッ素、塩素、メチル、エチルおよびメトキシから選択される、請求項 1 または請求項 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

R^3 が、水素である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 5】

R^4 が、水素、フッ素、メチルおよびエチルから選択される、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 6】

(i) R^1 が水素であり； R^2 がメチル、エチル、フルオロ、クロロおよびメトキシから選択され； R^3 が水素であり； R^4 が水素であるか、または (ii) R^1 が水素であり； R^2 が水素であり； R^3 が水素であり； R^4 がメチルであるか、または (iii) R^1 が水素であり； R^2 がフルオロであり； R^3 が水素であり； R^4 がメチルである、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 7】

R^1 が水素であり、 R^2 が水素およびフッ素から選択され、 R^3 が水素であり、 R^4 がメチルである、請求項 1 に記載の化合物。

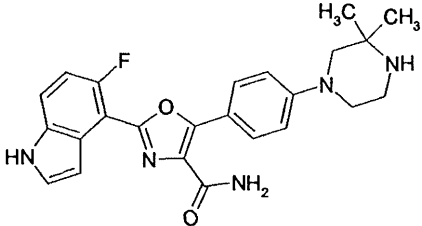
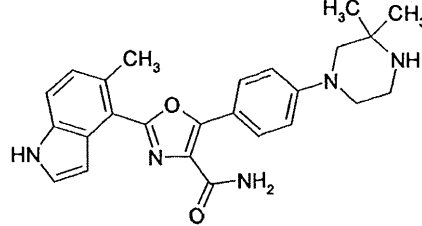
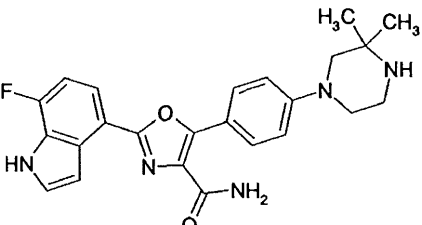
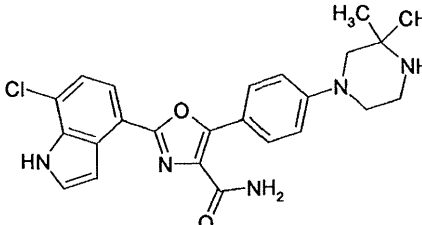
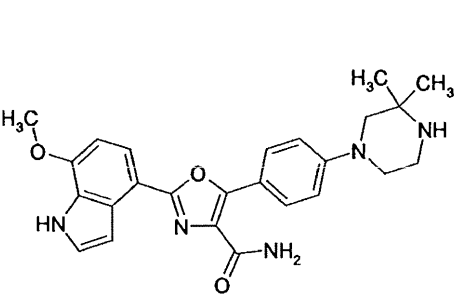
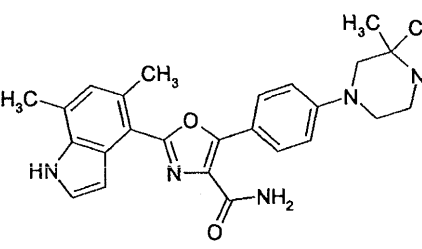
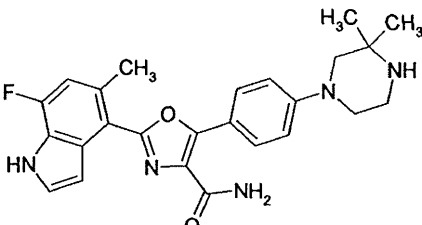
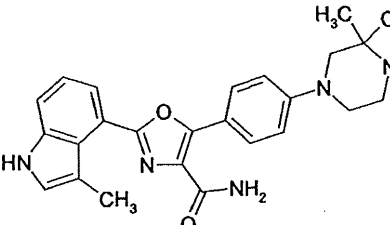
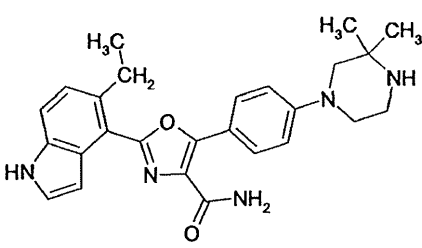
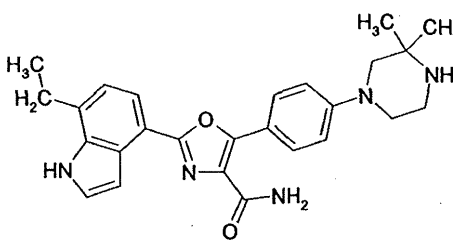
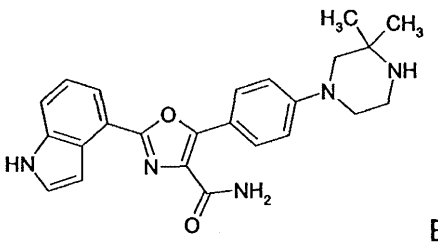
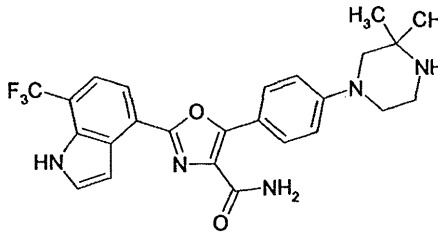
【請求項 8】

R^2 がフッ素である、請求項 7 に記載の化合物。

【請求項 9】

以下の表の化合物 $E_{x, 1} \sim E_{x, 12}$ から選択される、請求項 1 に記載の化合物、およびその塩。

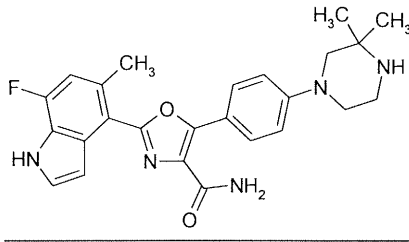
【表 1】

 Ex. 1	 Ex. 2
 Ex. 3	 Ex. 4
 Ex. 5	 Ex. 6
 Ex. 7	 Ex. 8
 Ex. 9	 Ex. 10
 Ex. 11	 Ex. 12

Ex. 2、Ex. 3、Ex. 5 および Ex. 7 から選択される、請求項 7 に記載の化合物。

【請求項 11】

【化 2】



である請求項 9 に記載の化合物又はその塩。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の化合物および薬学的に許容し得る賦形剤を含む医薬組成物。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む癌治療のための医薬組成物。

【請求項 14】

増殖性疾患の治療のための医薬組成物であって、前記増殖性疾患は、急性リンパ芽球性白血病 (ALL)、急性骨髄性白血病 (AML)、慢性骨髄性白血病 (CML)、ホジキンリンパ腫 (HL)、非ホジキンリンパ腫 (NHL)、及び多発性骨髄腫 (MM) から選択される造血系腫瘍である、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の化合物を含む医薬組成物。

【請求項 15】

前記癌は、FLT3 キナーゼによる阻害に感受性のあるものであり、かつ急性骨髄性白血病 (AML) である、請求項 13 に記載の医薬組成物。

【請求項 16】

前記医薬組成物は他の化学療法剤と併用して用いられる、請求項 13 に記載の医薬組成物。